

使用済食用油のバイオディーゼル燃料活用事業

地球温暖化対策事業本部 地球温暖化対策課

CO₂ 排出削減に貢献するバイオエネルギーの普及拡大に向けて、市の施設から出る使用済食用油を回収し、福祉施設において「バイオディーゼル燃料（BDF）」に精製し、水再生センターのディーゼルエンジン駆動の発電設備で利用します。

これにより、下水道事業が率先して温暖化対策を推進するとともに、障害者の自立を支援します。

リサイクルシステムの概要



平成 20 年度は、質・量ともに安定して回収が見込める本市施設から、使用済食用油を回収する仕組みを構築しました。

平成 21 年度は金沢区の小学校から使用済食用油の回収を開始し、約 10 KL の BDF の精製を行います。

回収した使用済食用油は福祉施設で BDF に精製します。障害者の方でも容易に操作可能な精製装置を設置します。

精製した BDF は水再生センターに搬送し、保管タンクに貯蔵し使用します。

【回収イメージ】



平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
<p>準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境省補助金申請 BDF 精製装置の設置 等 	<p>一部展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 市施設からの使用済食用油の回収開始（金沢区） 福祉施設で精製（金沢区） 	<p>エリア拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 全区展開へ（精製場所：5 か所程度）

○バイオディーゼル燃料（BDF）とは

バイオディーゼル燃料（Bio-diesel Fuel: BDF）とは、廃食用油エステル化燃料とも呼ばれ、植物性廃食用油を資源化する技術により精製される燃料の一つです。

近年、温暖化問題が深刻化する中、生物由来（バイオマス）の燃料である BDF は二酸化炭素排出量を増加させない燃料として脚光を浴びています。